

自転車活用推進功績者表彰

表彰事例のご案内

2020.07.17



○ 山田 拓氏

【受賞理由】

2007年(株)美ら地球を設立し、飛騨の農村集落を自転車で巡る外国人向けガイドツアー「SATOYAMA EXPERIENCE」などをプロデュースし、多数の外国人旅行者を飛騨に誘客し、好評を博している。

近年はその知見をいかし、秋田や宇和島など、国内他地域でのサイクルツーリズムの事業開発支援にも従事。
各地の新たな自転車文化の振興に注力している。



○ 宇都宮ブリッツェン

【授賞理由】

サイクルロードレースチームとして地域に密着したクラブチームを目指し、チーム設立当初から、自転車を利用することが多い地元の小・中・高校生を中心に、自転車の正しい乗り方を始めとしたルールやマナーを教える「自転車安全教室」を繰り返し開催するなど、様々な地域貢献活動を行っている。



○ 特定非営利活動法人SPORTS PRODUCE熊野

【授賞理由】

国際自転車競技連合(UCI)認定レース「TOUR de 熊野」を主催し、海外からのチームも多く参加しており、地域の企業・自治体を巻き込んだ一大イベントとなっている。サイクリングにおける地域活性化、自転車の魅力発信に取り組むほか、所在地域以外の各地のイベント開催でも各種の支援を行っている。



○ 株式会社ふたごじてんしゃ

【授賞理由】

日本初の幼児二人を後部に乗せることのできる三輪自転車(ふたごじてんしゃ®)の企画開発販売を行っている。

また、自転車利用においての交通安全教室や全国初の子ども乗せ自転車のシェアサイクルの試験運用などを行い、これらを通じ、自転車利用に必要な交通安全ルールの教育を実施している。



○ 特定非営利活動法人タンデム自転車NONちゃん倶楽部

【授賞理由】

障がい者サイクリング講習会や体験会の指導、助言等を通じ、タンデム自転車の認知度向上及びパイロット(タンデム自転車の最前部に乗車する人)の養成に取り組んでいる。

さらに、地域の防災訓練において、自主防災組織と連携し、二人乗りの高機能三輪自転車を活用した避難困難者に対する体験・試乗活動を実施し、災害時における障がい者や高齢者への避難手段としての活用にも取り組んでいる。



